

# おおくぼ 大久保遺跡（第3次）その3【最終】

所在地： 三重郡菰野町潤田（みえぐんこものちょううるだ）

位置情報URL：[三重県地図情報サービス](#) 大久保遺跡調査現場

## 調査を通して、「潤田御厨<sup>みくりや</sup>」設置の時代の集落の発展が分かってきました

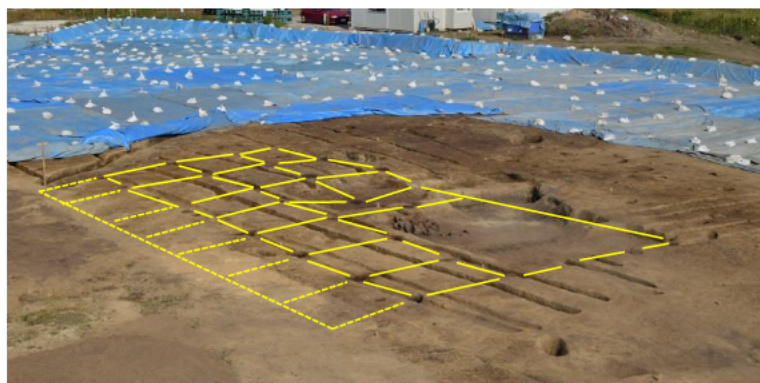
平成27年8月から発掘調査を進めてきた大久保遺跡の発掘調査も終了しました。今回の発掘調査に際して、地域のみなさまを始め、多くの方々にご協力をいただきました。ありがとうございました。

今回の大久保遺跡の調査では、平安時代末から鎌倉時代（約700～1,000年前）のものと思われる掘立柱建物跡や溝、土坑などが見つかりました。中でも、大久保遺跡で最大級となる掘立柱建物が見つかったことは大きな発見となりました。過去2回の調査と合わせ、平安時代末頃から集落ができ始め、鎌倉時代にかけて発展していったことが分かりました。

この潤田地区には、鎌倉時代・室町時代に「潤田御厨<sup>みくりや</sup>」と呼ばれる伊勢神宮の神領<sup>しんりょう</sup>が置かれていたことが、古い文献から断片的には分かっていました。今回分かった集落の発展の様子は、この「潤田御厨」の設置とも関わっている可能性があると考えられます。



調査区の全景



有力者が居住していたと思われる大型の掘立柱建物  
(約14m×8m)



現地説明会では、多くの人にご覧いただきました

調査結果の詳細については、出土した遺物や測量図面などを検討して報告書にまとめて刊行する予定となっています。

<問い合わせ先> 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503  
三重県埋蔵文化財センター調査研究1課  
担当者：中井・石井  
電話：0596-52-1732 FAX：0596-52-7035  
E-mail：maibun@pref.mie.jp